

日々はOracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年8月7日月曜日

Oracle Database Error Help Portalを呼び出す数値フィールドを作ってみる

旧Twitter、今はXと呼ぶのでしょうか、を見ていたらOracle Databaseのプロダクト・マネージャーのGerald VenzlがOracle Database Error Help Portalというのができたよ、と紹介していました。

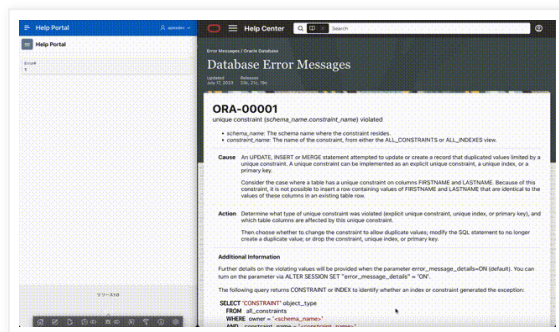
記事は[Introducing the Oracle Database Error Help Portal](#)です。

詳細は元記事を参照していただくとして、簡単に言うと、以下のようなURLでエラーの説明ページを参照できるようになった、とのことです。

<https://docs.oracle.com/error-help/db/ora-エラー番号/>

エラー番号については5桁で、上位桁は0詰めありのようです。

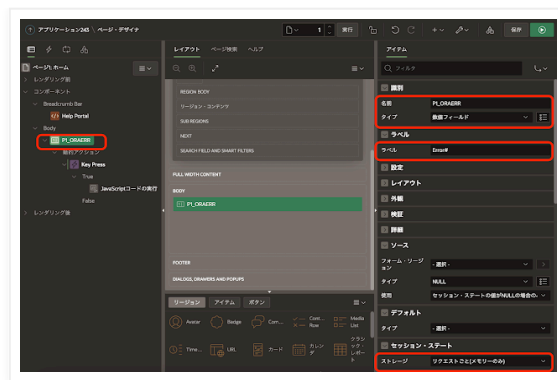
数値フィールドにエラー番号を入れて、エンターを押すとError Help Portalのページを開くアプリケーションを作ってみました。



元記事にChromeの検索エンジンとしてError Help Portalを登録する方法が紹介されているので、そちらの方が便利に使えるでしょう。

実用性よりは、キーボード・イベントを扱う動的アクションのサンプルとして作成しています。

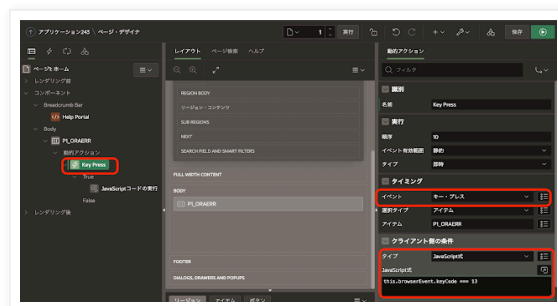
エラー番号を入力するページ・アイテムはP1_ORAERR、タイプは数値フィールドです。データベースに値を保存する必要は無いため、セッション・ステートはリクエストごと(メモリーのみ)としています。



ページ・アイテムP1_ORAERRに作成した動的アクションは、イベントがキー・プレス、クライアント側の条件としてJavaScript式を選択し、JavaScript式に以下を記述しています。

`this.browserEvent.keyCode === 13`

エンターを入力したときだけ、この動的アクションが有効になります。ブラウザ・イベントは `this.browserEvent` として動的アクションに渡されます。

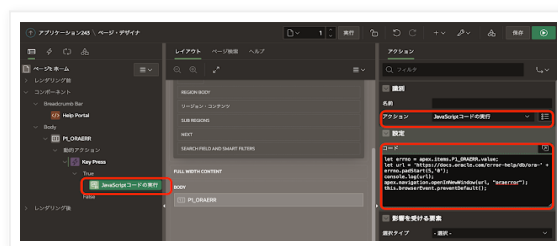


TRUEアクションとしてJavaScriptコードの実行を選択し、設定のコードに以下を記述します。

```
let errno = apex.items.P1_ORAERR.value;
let url = 'https://docs.oracle.com/error-help/db/ora-' + errno.padStart(5, '0');
console.log(url);
apex.navigation.openInNewWindow(url, "oraerror");
this.browserEvent.preventDefault();
```

open-error-help-portal.js hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)



以上で完成です。

簡単なアプリケーションですが、エクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/help-portal.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 17:43

共有

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
